

平成30(2018)年度 社会福祉法人 神戸育成会 事業報告

【総括】

社会福祉法人神戸育成会は、法人理念及び障害者総合支援法に基づき、制度の動向を踏まえ、利用者の福祉と社会的自立を支援するために事業を行いました。

社会福祉法人として、社会福祉法人制度改革にもある、透明性・公平性・公益性を重視し、地域に必要とされる存在であることを目指し努めました。

＜基本方針＞

(事業所の経営)

中長期的に健全な経営が営めるように、収支を十分に検討して行いました。収益が上がるように利用者を増やすための行動に努めました。

(組織体系の確立)

指揮命令系統が機能し、スタッフ間でコミュニケーションを取り、チームとして連携して業務に努めました。

(拠点事業所の経営)

就労継続支援B型と生活介護の拠点をみくら・住吉・つついのみやに置きました。

各拠点にはリーダーを配置し、拠点ごとの事業計画を法人の事業計画とリンクして事業に努めました。

(利用者の支援)

個別支援計画を立て、意思決定支援、合理的配慮(障害者差別解消法)、地域共生社会、障害者の権利擁護に関する事項を重点課題とし、サービスの向上できるように努めました。

(新規利用者の獲得)

支援学校や相談事業所などへの「営業」並びに、児童との交流等つながる方法を探り関係性を深めるように努めました。

(人財確保・育成)

スタッフの知識の向上・スキルアップのためのOJT、OFJTを活用・参加に努めました。

パートから嘱託、嘱託から正規へ登用する転換制度で2名登用しました。

新規事業検討委員会、マスタープラン(以降MPと表記)策定委員会について、MP以外は月2回程度実施しました。

＜具体的な取り組み＞

計画に掲げたことについて、工程表を作成し可能な限り目標を数値化し分かりやすく評価しやすいように設定し、10月に進捗状況を1月に総括を行いました。

食堂の活用や育成会館の利用の見直し・グループホーム事業の開設など新規事業として行うことを検討する委員会を設置しましたが、(仮)住吉第Ⅲ出張所、共生型サービスのみの検討になりました。

平成30(2018)年度 社会福祉法人 神戸育成会 事業報告

【工程表】

達成度 ×0～25%、△26～50%、○51～75%、◎76～100%
 ※職員・パートを「スタッフ」、サービス管理責任者を「サビ管」で表記

項目	課題	目標	達成度	評価の理由	課題	改善策
法人の経営	法人の健全な経営①	拠点ごと・部門の収支が分かる決算書を作成する	×	分かり易くできていない	各カテゴリーの按分計算が複雑なため	別途分析用データを作成する
	法人の健全な経営②	収支決算書を基に経営分析を行う	×	トータルな把握ができていない	データに基づく経営分析が困難	負債と補修費を盛り込んだ分析表が必要
	法人の健全な経営③	経営戦略を立て収支が上向くようにする	×	実習・見学の受け入れにより利用者が増えた	包括的な経営戦略の構築には至っていない	利用者を増やす、利用率を上げる
	法人の健全な経営④	月の利用日数が不足する場合は、第2(第4)土曜日を開所日とする(営業日18日増)	△	4・5月の実施。その後は人手不足によりできなかった。	採用時に周知できていない パート支援員が多い 振替休暇のシフトに無理があった	採用時に土休日勤務もあることを伝える 祝日開所も検討
	法人の健全な経営⑤	お盆休みも営業する(営業日2日増)	○	8月13日と14日を営業できた	さらなる営業日を増やす	祝日開所の実施
	法人の健全な経営⑥	魅力ある法人・事業所になるために、『うり』作る	△	住吉出張所については「工賃アップ」「かもこの風」のことをうりに出来た	その他の拠点についてのうりが少ない	生活介護・つついのみやが共生型サービスを開始することをうりにする 例えばHPに掲載したり広報活動時にPRするなど

平成30(2018)年度 社会福祉法人 神戸育成会 事業報告

項目	課題	目標	達成度	評価の理由	課題	改善策
法人の経営	法人の健全な経営⑦	新規に2委員会を増やし実施する	△	新規事業検討委員会は内容として運営会議でできたが、MPは手つかずだった	MPの実施検討	現状は取り組むことが難しいため、見送る
	★法人の健全な経営⑧	新規利用者を獲得する	○	4名を年度内に利用に繋がった 31年4月に3名新規利用者が利用予定	2020年度に向けての動き	営業活動に加え新たな戦略を検討する 例えば体験利用を売り込むなど
意思決定支援	意思決定支援の理解	意思決定支援を理解し支援に活かす	○	1月18日の全体会議で実施予定であるため	意思決定支援を理解して支援に活かされたか達成度が評価できない	意思決定支援・合理的配慮については引き続き全体会議で取り上げていく
合理的配慮	合理的配慮の理解	合理的配慮を理解し支援に活かす	○	合理的配慮について9月21日の全体会議で取り入れグループワークを行った	合理的配慮を理解して支援に活かされたか達成度が評価できない	
★個別支援計画	アセスメントの充実 フェイスシートの更新 モニタリング会議の実施	利用者本人の意思を汲み取る 新しく正確なフェイスシートを作成する	△	個別支援計画・OJT勉強会を4回実施しリーダーに伝えた意識の高まりは見られるが、一部フェイスシートが不十分である	さらなる意識の向上が必要	分かりやすいマニュアルを作成する
個別支援計画	個別支援計画の立て方	個別支援計画の作成にあたり、基本的なことから学ぶ	△		理解を深め実践することが難しい	
★サービスの向上	提供しているサービスの見直し	魅力ある事業所を目指し、新しいことにチャレンジする	△	方法通りに実施できていないため	スタッフのスキルアップ	OJT、OF-JTなどで習得する

平成30(2018)年度 社会福祉法人 神戸育成会 事業報告

項目	課題	目標	達成度	評価の理由	課題	改善策
PR	PR活動が不十分	ポイントを絞り効果的なPRを行う	○	ポイントを絞り実施できたため	さらに効果的なPR方法	引き続き同様に取り組みつつ情報収集して取り入れる
ホームページ リーフレット	ホームページ・リーフレットの活用と更新	広報誌を発行する	△	広報誌を1回発行した 予定回数発行できなかった	HPとリンクする	HPとリンクする
スキルアップ・専門性の向上	研修・他施設実習	全スタッフが年1回以上外部研修に参加する 他法人の見学などに行く	△	3名が未実施	他法人見学要項未作成	チェックリスト作成 同法人の別拠点で体験・同拠点で見学なども検討
スキルアップ・専門性の向上	全体会議のあり方	法人が必要とする人財像を研修内容に盛り込む	○	全体会議の内容としては計画通り実施できたため	スタッフのスキルアップにつながる内容	年間計画を立てて実行する
人財確保	人財確保が困難	ボランティアを積極的に受け入れる 法人の魅力を発信する	○	人材確保が困難な中、一定程度の人材を確保することができたため	人材確保が困難	スタッフからの紹介制度(手当)の検討
人財育成	OJTが不十分	OJTのスキルを向上する	△	個別支援計画・OJT勉強会を4回実施しリーダーに伝えたが、自覚の高まりがあったか否か不明なため	リーダーのOJTに対する意識向上	形は変えても機会を設け実施する

平成30(2018)年度 社会福祉法人 神戸育成会 事業報告

項目	課題	目標	達成度	評価の理由	課題	改善策
★チームワーク	スタッフ間のコミュニケーションが取れているのか、と家族から不安の声がある	スタッフ間でコミュニケーションをとり、家族会などからコミュニケーションが取れるようになったと評価される	△	拠点ごとに計画を立てているが結果として不明で、家族からの評価もない	コミュニケーションを図るためのさらなる工夫が必要	引き続き計画して実践していく
★行事	予算化・振り返り・評価できていない	予算化・振り返り・評価をする	△	予算かはできていないが、振り返ると評価についてはある程度できたため	行事の予算化	年度予算に組み込む
権利擁護	苦情解決・虐待防止委員会	開催月を半期に1度、5月(29日)・11月(27日)に実施する	○	計画通り実施できたため	特には見当たらず	引き続き実行する
権利擁護	成年後見制度・虐待防止法などの障害者の権利擁護に関する理解	成年後見制度・虐待防止法などの理解を深めるための研修会を年に1回開催する	○	7月20日の全体会議で神戸市職員を招き実施できたため	虐待防止や権利擁護に対する意識の向上	引き続き計画して実践していく
転換制度	転換制度の希望者が少ない	転換制度の理解を深める	○	2名がパートから嘱託に転換したため	転換制度と収支予算	予算と照らし合わせ実施できるのか否かを試算する また収支予算がどうなれば実施できるのかの見通しを持ちスタッフにも周知
組織体系	指揮命令機能	役割を明確にして組織体系を確立させる	×	運営会議で検討できていないため	組織体系の理解	全体会議に盛り込む

平成30(2018)年度 社会福祉法人 神戸育成会 事業報告

項目	課題	目標	達成度	評価の理由	課題	改善策
★労働	休憩が充分にとれていない	休憩が充分に取れるようにする	○	休憩要員スタッフを雇用するなど休憩が取れるようにできたため	特には見当たらず	目標達成しており特に課題は見られないため、計画から削除する
収益事業	育成会会館の管理運営で、経営状況が厳しい上に、経年劣化により修繕費が必要になってきている	必要に応じて修繕する そのために必要な費用を捻出する	×	まだ見直しをしていない	諸経費など現状把握と計画を立て必要経費の試算がまだ	諸経費など現状把握と計画を立て必要経費の試算を立てる
嘱託医健康相談 健康管理	嘱託医の活用が不十分	嘱託医に利用者・家族に加え、スタッフの相談や研修会の講師としても活用する	○	嘱託医に計画通り実行してもらえたため	さらに嘱託医と関係性を深める	高Drが勧める研修会などにも参加する
書類	開設以来書類整理ができていない	書類整理する	◎	9月5日に整理した書類を廃棄できたため	年度での棚卸しの実行	計画を立て取り組む
地域貢献 地域交流	充分できていない	求められる地域貢献を行う	△	長田社協ほかとの連携を実施	求められる地域貢献が不十分	今後も積極的に関わっていく
家族	家族と法人とのコミュニケーション	家族などに年に1回事業所訪問してもらう	○	計画通り実施できたため	課題である家族とのコミュニケーションが図れた否かは不明 参加者が少なかった 家族会も含め参加者が増える工夫を引き続き行う	家族会メモの継続と工夫

平成30(2018)年度 社会福祉法人 神戸育成会 事業報告

項目	課題	目標	達成度	評価の理由	課題	改善策
健康管理	健康診断を2日間実施している	年1回(1日)で行う	◎	計画通り実施できたため	特には見当たらず	引き続き実施していく
避難訓練	テナント全体できていない	テナント全員参加 (一社)神戸市手をつなぐ育成会、(株)いくせいも年2回実施する	△	11月実施分が未実施のため	他のテナントが避難訓練参加が少ない	引き続き働き掛ける
後援会	後援会がない	後援会設立の検討・準備を行う	×	未実施である	情報収集し検討する	引き続き働き掛ける
地域との連携	連携できていない	年間4回訪問する	○	複数回連携した	さらなる連携強化	引き続き働き掛ける